



Vol. 30からシリーズで連載し、10名の若者にインタビューした「はたらく若者」。職種や働き方もさまざまで、働くことに対する思いや考え方にも多様性があり、十人十色の生き方がうかがえました。

シリーズのまとめとなる今回は、当協会でも働くユースワーカーで、これまでの「はたらく若者」を振り返りながら、「はたらくこと」をキーワードに語りあいました。連載してきた若者と同世代である3人が語る「はたらく」から若者の今をみつめます。



木村 これまでの連載を読んで「何のために働くのか」が、お金のために働くタイプと、将来やりたいことを叶えるために前段階として今の仕事をしているタイプと2パターンあるなと思った。それでいうと私は、お金のために働いているかな。

田鹿 「自由と自立のため」と話していた若者がいて、とても共感した。去年社会人1年目で、完全に親の家計から自立できた1年だったけど「こんなに自由なんや！」と思いき、気持ちの面ですごく楽になった。私は、「働けなくなったら困るなあ」と思っているけど、どうですか？

佐藤 私は、お家が好きだから困らないかな。好きな本やゲームとご飯があれば生きていける！

木村 すごい(笑)。でもそうやって生きるためにはお金が必要だから、やっぱり働かないといけないうな。

田鹿 なるほど。もし、パトロン

佐藤 働かなくても食べていけるならそれがいいけど、それは無理だからね。

田鹿 なるほど。もし、パトロン

みたいな人が現れて、お家の中に好きなものを全部用意されて、外に出なくてもいいよと言われてたら、どうしますか？

佐藤 ……たぶん、それでも働くと思う。働き方はフレックスな形に変えるかもしれないけど。

田鹿 働くのは「外に出るため」なんです。

佐藤 外に出て違う人と話をしないと、考え方が広げられなさそうなのがします。本はすごく好きだけど、自分と本の世界だけだと広がり得ない部分があるだろうなと思うから。お家が好きなのと同じくらい、変化を望んでいるかな。安心感も欲しいけど、やっぱりチャレンジもしないといけないうな。

田鹿 木村さんはどうですか？

木村 私も働くかな。家で自分の好きなことをしてゆっくりする時間ですごく好きだけど、日常の中に面白いと思うこととか、ちょっと刺激が欲しいんです。たぶんずっと家にいたらそういうのって無いと思う。そういう意味では、お金を稼ぐためでもあるけど、変

化をつけるって意味でも働く場所はあると思う。なんもしてないな、わたし。働いてみて私が悟ったのは、私は終わりが好きなんだということ。「やったぞ！ 終わったー」という。学生時代に勉強や研究をしていた時は、はっきりとした区切りや終わりがなかったんですよ。仕事だと、事業が終わった日とかは、家に帰った時のテンションが最高です(笑)。

佐藤 なるほど、筋書きと終わりを求めているんだね。

木村 終わりがあっていいことは、あんまり考えたことがなかったな。

田鹿 私は、漂流してやってきたという感じです。大学では政策を専攻して、制度とか、人以外の仕組みについて学びました。学問とは別に、ボランティア活動などをしている中で、自分が呼んでもらえるのは、人がいる場所だったと気づいて、人と関わるのは実は怖

田鹿 私は、漂流してやってきたという感じです。大学では政策を専攻して、制度とか、人以外の仕組みについて学びました。学問とは別に、ボランティア活動などをしている中で、自分が呼んでもらえるのは、人がいる場所だったと気づいて、人と関わるのは実は怖

田鹿 私は、漂流してやってきたという感じです。大学では政策を専攻して、制度とか、人以外の仕組みについて学びました。学問とは別に、ボランティア活動などをしている中で、自分が呼んでもらえるのは、人がいる場所だったと気づいて、人と関わるのは実は怖

田鹿 私は、漂流してやってきたという感じです。大学では政策を専攻して、制度とか、人以外の仕組みについて学びました。学問とは別に、ボランティア活動などをしている中で、自分が呼んでもらえるのは、人がいる場所だったと気づいて、人と関わるのは実は怖

田鹿 私は、漂流してやってきたという感じです。大学では政策を専攻して、制度とか、人以外の仕組みについて学びました。学問とは別に、ボランティア活動などをしている中で、自分が呼んでもらえるのは、人がいる場所だったと気づいて、人と関わるのは実は怖

たところがダメだったり、いろんな職場を見に行ったりしているうちに、何がしたいのかよく分からなくなりました。やりたいことを求めていくスタイルは私には合わなかった。だから、どこでもいから入ってみて、とにかくやってみる方が自分にはあっていいるなと思う。

田鹿 人と関わりたいという思いはあったんですか？

木村 それは元からあった。あと、いわゆる企業のオフィスみたいなところで働いている自分がイメージ出来なかったかな。

佐藤 やりたいことがあってこの仕事を選んだ？

田鹿 私は、漂流してやってきたという感じです。大学では政策を専攻して、制度とか、人以外の仕組みについて学びました。学問とは別に、ボランティア活動などをしている中で、自分が呼んでもらえるのは、人がいる場所だったと気づいて、人と関わるのは実は怖

田鹿 私は、漂流してやってきたという感じです。大学では政策を専攻して、制度とか、人以外の仕組みについて学びました。学問とは別に、ボランティア活動などをしている中で、自分が呼んでもらえるのは、人がいる場所だったと気づいて、人と関わるのは実は怖

田鹿 私は、漂流してやってきたという感じです。大学では政策を専攻して、制度とか、人以外の仕組みについて学びました。学問とは別に、ボランティア活動などをしている中で、自分が呼んでもらえるのは、人がいる場所だったと気づいて、人と関わるのは実は怖

田鹿 私は、漂流してやってきたという感じです。大学では政策を専攻して、制度とか、人以外の仕組みについて学びました。学問とは別に、ボランティア活動などをしている中で、自分が呼んでもらえるのは、人がいる場所だったと気づいて、人と関わるのは実は怖

木村 これまでの連載を読んで「何のために働くのか」が、お金のために働くタイプと、将来やりたいことを叶えるために前段階として今の仕事をしているタイプと2パターンあるなと思った。それでいうと私は、お金のために働いているかな。

田鹿 「自由と自立のため」と話していた若者がいて、とても共感した。去年社会人1年目で、完全に親の家計から自立できた1年だったけど「こんなに自由なんや！」と思いき、気持ちの面ですごく楽になった。私は、「働けなくなったら困るなあ」と思っているけど、どうですか？

佐藤 私は、お家が好きだから困らないかな。好きな本やゲームとご飯があれば生きていける！

木村 すごい(笑)。でもそうやって生きるためにはお金が必要だから、やっぱり働かないといけないうな。

田鹿 なるほど。もし、パトロン

佐藤 働かなくても食べていけるならそれがいいけど、それは無理だからね。

田鹿 なるほど。もし、パトロン

佐藤 漂着してきたという感じ、すぐわかる。私は、教育学部出身で、アルバイトとかも教育学系のことをしていたから、この分野以外は無理だろうと思っていただけ、学校の先生になる自分ほしくりこなくて。仕事を選んだ理由は、全体的にぼんやりしているかもしれない。

田鹿 「これがやりたい！」と思って仕事を選んだ訳ではないけど、「これなら自分にもできるかな？」と選んだという感じですね。

佐藤 やりたいことを追求できるといっても一つの選択だと思いうけど、別にやりたいことがなくても、のんびりだらりと生きていられるということも大切なことかなと思う。だから、どちらか一方にならないように、自分自身がありたいし、関わる人にもどっちが良いって言うてしまわないようにありたいなと思いますね。

木村 いろいろあっていいんだな、です。働くことに対して勝手にハードルを高くしていたけど、働き始めると、転職経験がある人

木村 いろいろあっていいんだな、です。働くことに対して勝手にハードルを高くしていたけど、働き始めると、転職経験がある人

木村 いろいろあっていいんだな、です。働くことに対して勝手にハードルを高くしていたけど、働き始めると、転職経験がある人

木村 いろいろあっていいんだな、です。働くことに対して勝手にハードルを高くしていたけど、働き始めると、転職経験がある人

木村 いろいろあっていいんだな、です。働くことに対して勝手にハードルを高くしていたけど、働き始めると、転職経験がある人

みたいな人が現れて、お家の中に好きなものを全部用意されて、外に出なくてもいいよと言われてたら、どうしますか？

佐藤 ……たぶん、それでも働くと思う。働き方はフレックスな形に変えるかもしれないけど。

田鹿 働くのは「外に出るため」なんです。

佐藤 外に出て違う人と話をしないと、考え方が広げられなさそうなのがします。本はすごく好きだけど、自分と本の世界だけだと広がり得ない部分があるだろうなと思うから。お家が好きなのと

田鹿 木村さんはどうですか？

木村 私も働くかな。家で自分の好きなことをしてゆっくりする時間ですごく好きだけど、日常の中に面白いと思うこととか、ちょっと刺激が欲しいんです。たぶんずっと家にいたらそういうのって無いと思う。そういう意味では、お金を稼ぐためでもあるけど、変

など、色々なパターンの人がいることを知って、よく言われる「なるべく定年まで続けるよ」とかはあんまり気にしなくてもいいなと思ったり、実際に働いてみて、自分にもできることはあるということがわかって、ちょっと気が楽になりました。働いてみて、価値観は変わりましたね。

田鹿 働けなくなったら嫌だな、困るなと思う。だから働きたいと思います。自由と自立が働く中で自分にはとても大きくて、でもそれだけじゃないなと考えていたのですが、さっき思い浮かんだのは、罪滅ぼしです。自由と自立と罪滅ぼし(笑)。そこまで考えなくてもいいのになと思うけど、私はそうだから仕方ないですね。

佐藤 いいやつになれる可能性。働かないと、自分を見直すことや、ちょっと違う生き物になりたいなという気持ちなくなっているさそうだし、ずっと家の中にいたら、自分という生き物に凝り固まってしまう気がする。働くことで、自分は日々変化する生き物でありたい、という気持ちを維持できるんだと思ってます。

佐藤 いいやつになれる可能性。働かないと、自分を見直すことや、ちょっと違う生き物になりたいなという気持ちなくなっているさそうだし、ずっと家の中にいたら、自分という生き物に凝り固まってしまう気がする。働くことで、自分は日々変化する生き物でありたい、という気持ちを維持できるんだと思ってます。

佐藤 いいやつになれる可能性。働かないと、自分を見直すことや、ちょっと違う生き物になりたいなという気持ちなくなっているさそうだし、ずっと家の中にいたら、自分という生き物に凝り固まってしまう気がする。働くことで、自分は日々変化する生き物でありたい、という気持ちを維持できるんだと思ってます。

佐藤 いいやつになれる可能性。働かないと、自分を見直すことや、ちょっと違う生き物になりたいなという気持ちなくなっているさそうだし、ずっと家の中にいたら、自分という生き物に凝り固まってしまう気がする。働くことで、自分は日々変化する生き物でありたい、という気持ちを維持できるんだと思ってます。

佐藤 いいやつになれる可能性。働かないと、自分を見直すことや、ちょっと違う生き物になりたいなという気持ちなくなっているさそうだし、ずっと家の中にいたら、自分という生き物に凝り固まってしまう気がする。働くことで、自分は日々変化する生き物でありたい、という気持ちを維持できるんだと思ってます。

佐藤 いいやつになれる可能性。働かないと、自分を見直すことや、ちょっと違う生き物になりたいなという気持ちなくなっているさそうだし、ずっと家の中にいたら、自分という生き物に凝り固まってしまう気がする。働くことで、自分は日々変化する生き物でありたい、という気持ちを維持できるんだと思ってます。